

概要

腫瘍組織が通常組織より温度調整機能が低いことを利用して、がん細胞を熱で死滅に追い込む療法です。保険は効きませんが、治療が難しいうえに、がんが熱に耐性を持ちやすく、治療の決定打とはなっていません。ただし、耐性は時間をおけば回復するので、長期的に継続して使用できるのが利点です。また、腫瘍に鉄分を集めて効果的にがん細胞を暖める実験なども行われており、将来には期待がもてるかも知れません。

[癌の温熱療法ハイパーサーミア](#)に詳しい話があります。ただし、仮説に過ぎない話もあるので、その辺りは割り引いてみてください。

最終更新時間：2005年07月06日22時25分09秒